

〈創立50周年に向けて〉シリーズ第2回

モーツァルト室内管弦楽団

第174回定期演奏会

〈ニューイヤール・モーツァルト名曲集〉

W.A. Mozart
Andreas Papadimitriou
《モーツァルト》

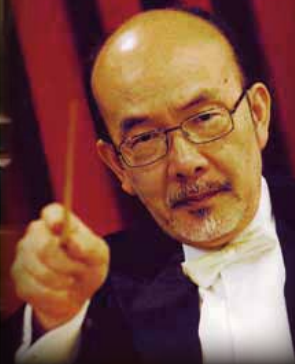
歌劇「ドン・ジョヴァンニ」K.527 序曲

クラリネット協奏曲 イ長調 K.622

交響曲 第39番 変ホ長調 K.543



クラリネット◆鈴木 豊人



指揮◆門 良一

開演10分前より指揮者によるプレトーク有

Ryoichi Kado & Toyohito Suzuki
mit dem Mozart-Kammerorchester



2017.

1/29 (日) いずみホール

2:00pm開演(1:30pm開場) 入場料：一般 ¥5,000(指定席) / 学生 ¥1,000(当日限定数発売) *小学生よりご入場いただけます。

JR環状線「大阪城公園」駅から3分、「京橋」駅から7分、
地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅から5分。
有料駐車場完備

主催◆モーツァルト室内管弦楽団 <http://www.moz-kam.org> 協賛◆いずみホール[一般財団法人住友生命福祉文化財団]

マネジメント◆大阪アーティスト協会 TEL06-6135-0503/FAX06-6135-0504 e-mail:artists@gol.com

〒530-0041大阪府北区天神橋3-3-3南森町イシカワビル507 URL:<http://www.oaa1985.com/>

前売

大阪アーティスト協会 050-5510-9645(電話受付:平日10~18時) いずみホール 06-6944-1188 チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:*****)

ローソンチケット 0570-084-005(Lコード:*****)

*大阪アーティスト協会は世界の子どもの未来を支える大阪ユニセフ協会に賛同し、コンサート会場で募金活動等を行いながら、音楽を通して少しでも社会に貢献できるような取り組みを続けています。皆様のあたたかいご支援ご協力をお願い申し上げます。



モーツァルトの名曲でニューイヤーを！

2017年の新春をモーツァルトの珠玉の名曲でお楽しみいただきたい。《ドン・ジョヴァンニ》序曲、クラリネット協奏曲、交響曲第39番とならべると、モーツァルト・ファンならずとも周知の名曲ばかりであるが、いずれも演奏会で耳にすることは案外に稀なのである。《ドン・ジョヴァンニ》序曲は、主人公の地獄落ちを暗示する重苦しい序奏ではじまるが、主部はあつけらかんとした明るい音楽で、このオペラがオペラ・ブッフア(喜劇的オペラ)であることを端的に示している。クラリネット協奏曲はこの楽器のための古今無双の大名曲で、当時はまだ新顔の楽器であったクラリネットを知りつくしていたモーツァルトが、死の直前に易易として書き上げた絶品である。この名曲を日本屈指の名手鈴木豊人氏の名演奏でお楽しみいただきたい。交響曲第39番はモーツァルト晩年の集大成といつていい(3大交響曲)の筆頭を飾る名曲であり、他の2曲、第40番、第41番《ジュピター》とは全く異なる健康美にあふれた傑作である。

モーツァルト室内管弦楽団／指揮：門 良一 *Mozart-Kammerorchester Japan / Ryoichi Kado, Dirigent*

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、45年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的プロ室内オーケストラである。レパートリーはモーツァルト、ハイドンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツァルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツァルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。91年のモーツァルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツァルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで、90年からは大阪いずみホールを本拠として年6回の定期演奏会を開催。また隔年毎に東京定期演奏会を行い既に17回を数えている。海外では88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョアオ・ピリス(85、87年)、シブリアン・カツァリス(93、94年)、ペーター・ダム(83、86、88、98、00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル(86年)、ライナー・キュッヒル(90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。91年に姉妹団体、モーツァルト記念合唱団を誕生させ宗教曲等で活発に協演する他、93年には堺シテリオペラの協力による《モーツァルト・オペラシリーズ》を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。06年1月にはモーツァルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。07～09年全10回にわたる《没後200年記念ハイドン・シリーズ》を、09～11年全18回にわたる《創立40周年シリーズ》を開催。また10年からは《ベートーヴェン・シリーズ》を、15年からは《創立45周年シリーズ》を開始している。

鈴木豊人●クラリネット *Toyohito Suzuki, Klarinette*

桐朋学園大学卒業。その後、ドイツ国立ケルン音楽大学に学ぶ。故喜田賦、故北爪利世、故F.クラインの各氏に師事。1976年から86年までドイツ・キール市立フィルハーモニーオーケストラにて首席クラリネット奏者として活躍し、同市より「音楽学士」の称号を授与される。帰国後は、ソリストとして国内外で演奏活動を展開する他、2005年まで「サイトウ・キネン・オーケストラ」のメンバーとして活躍する。現在、後進の指導にあたる傍ら、「紀尾井シンフォニエッタ東京」、「アンサンブル・ベガ」のメンバーとして全国各地で演奏活動を行っている。超絶技巧から繊細かつ甘い音色には定評がある関西を代表するクラリネット奏者の一人である。